

令和元年度

萩市消費生活モニター通信③



萩市 消費生活センター

# 萩市消費生活モニター通信③ 目次

キャッシュレス決済 .....	1
配布される家庭用燃やせるごみ袋について .....	2
新型コロナウイルス感染症 .....	2~6
高齢者外出支援事業 .....	7
研修会に参加して .....	7
消費生活モニターを終えて .....	7~8

## キャッシュレス決済

2019年10月から、キャッシュレス決済が徐々に普及してきています。キャッシュレス決済をすることで、ポイント還元サービスやインターネットでの買物をするのに代引き手数料や入金手数料など支払わなくてもいいなどお得で便利な決済ですが、どのくらいの利用者がいるのでしょうか？

手元に現金がなくても支払いができるという利便さがある反面、家計管理ができていないと使いすぎて精算できなくなってしまうケースもあると聞きました。

萩市でもそのようなトラブルは起こっているのでしょうか？

(消費生活センター)

日本政府は、現金との支払比率を2025年までに40%を目標とし、将来的には80%を目指しています。現時点での利用者の正確な数は把握できていませんが、民間の調査によるとキャッシュレス決済を利用している人の割合は増加しているようです。年代差や男女差もありますが、クレジットカード決済は年齢層の高い人の利用が多く、スマホ決済（QRコード等）は若い年代の利用が多いようです。

また、男性は支払時の利便性を求め、女性は支払時のポイント還元を求めている傾向が高いようです。

また、ご指摘のある通り、キャッシュレス社会で不安に思うことは「個人情報の流出」が一番多く、次に「不正利用」「無駄遣い」などが挙げられます。利用が目に見えないので、目先の割引やポイントにつられ、つつい浪費してしまう人が少なくないのも事実です。

クレジットカードを利用して買物をして、つつい返済額が増え家計を圧迫してしまうといった相談は、萩市内でもキャッシュレス決済になる以前から受けています。



## 配布される家庭用燃やせるごみ袋について

新年度になると萩市指定のごみ袋が配布されますが、こんな意見を聞きました。

「家族の人数が少なくなっているのに、燃やせるごみの袋が大きくてやれんがあ。家に合う様に小さい袋を買って使っているんよ。」「まあ、家もよ。市もみんな一律にせんでも家庭に合わせて変えてくれたら助かるのにねえ。」「特に夏場が困るんよね。袋が一杯になるまで長いこと置かれんからねえ。」と同調する意見が出ていました。

市民の皆さんの思いに添えるよう事前に聞いてもらうことはできないのでしょうか。

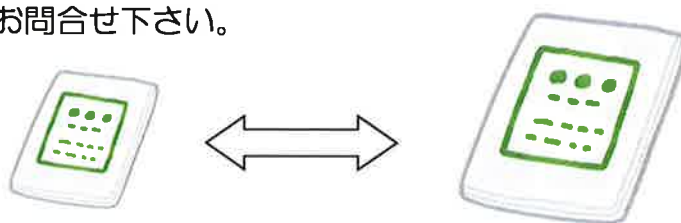
(環境衛生課)

新年度に入りますと、世帯の人数に合わせて「燃やせるごみ袋大」と「プラスチック製容器包装の袋」の無料配布を行っています。

現在、萩市では無料配布したごみ袋に対しては、1枚から別の袋に交換することができます。例えば配布された「燃やせるごみ袋大」10枚を交換したい場合は、「燃やせるごみ袋小」8枚と「プラスチック製容器包装の袋」2枚に交換することも可能です。

しかし、注意していただきたいことは、無料配布したごみ袋の該当年度内のみ交換できるということです。例えば令和2年度中に交換できるのは、令和2年度に無料配布した分のみです。元年度に配布した分は、交換できません。

環境衛生課または各総合事務所・支所・出張所の窓口にていただきましたら、交換いたします。お気軽にお問合せ下さい。



## 新型コロナウイルス感染症

今年に入り、新型コロナウイルス感染症で世界中が大変なことになりました。こんなに感染が拡大するとは、誰も予測してなかったことではないでしょうか。

一消費者としては、マスク、消毒液、ペーパー類について数分間で店内の様子が一変したことを目の当たりにした時の驚きは、言葉になりませんでした。

目に見えないものに踊らされず、賢い消費者になりたいなと思いました。

そして、1日も早く感染がおさまり、一人一人が日々の生活に危機感を持ちながらも助け合っていけるよう願うばかりです。



## 新型コロナウイルス感染症

今、国民の一番の関心事は新型コロナウイルス感染症のことでしょう。

幸いにして、萩市では感染者が出ていませんが心配です。

それに伴って色々な“デマ”が飛び交ってトイレットペーパーがないとか紙製品が不足するとか、でも本当に無かったんです。消費者としては“デマ”と分かっているでも買ってしまうという消費者心理なのではないでしょうか。

マスクが無いのは、本当に困っています。どこにも、ありません。

新型コロナウイルスのことで、色々な詐欺も発生していると聞いています。気をつけたいものです。私達消費者も、“デマ”に惑わされないようにしたいものです。

早く終息してほしいと祈るばかりです。

(消費生活センター)

全国的に「トイレットペーパーがない」といった不確実な情報が拡散され、萩市内もトイレットペーパーの品不足の事態が発生しました。マスクはいまだに品不足で、手作りの布マスクを使用する人が増えているようです。

新型コロナウイルスに便乗した詐欺ですが、

- ①「国からの配布マスク」に便乗した詐欺
  - ・自宅にマスクを送りつけ、金銭等を請求
  - ・「マスクは届いたか？届いていない場合は、還付金を支給する。銀行口座を教えてください」などの詐欺電話
- ②「コロナウイルス」に便乗した悪質商法
  - ・新型コロナウイルスが「水道水に混ざっている可能性があるので調査に行く」「水道管や排水管にコロナウイルスがついて汚染されているので除去する」等の根拠のない説明を行う悪質商法
  - ・身に覚えのない商品の送りつけ
  - ・個人情報を聞きだす不審な電話やメールの配布
- ③「特別定額給付金」(現金10万円の一律給付)に便乗した詐欺
  - ・個人情報を聞きだす不審なメールやSNSでの通知
  - ・「個人情報」「通帳、キャッシュカード」「暗証番号」を詐取するための電話
  - ・「特別定額給付金」の給付のための手数料の振込みの要求(手数料自体なし)

実際に「特別定額給付金」の申請手続きが開始されると、それに伴う新たな手口の詐欺が予想されます。消費生活センターからも随時発信したいと思っておりますが、皆様からの情報提供もお待ちしています。



## 新型コロナウイルス感染症

現在、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、マスクや除菌グッズの購入が難しくなっています。このような事態になっていますが、私達が、今、一番取り組んでいくことは免疫力を高めることだと思います。免疫力を高める食材(ヨーグルト、納豆、にんにく、鶏肉、りんご、バナナなど)を積極的に摂取すること、適度な運動、十分な睡眠、心を明るく保つことなど、しっかり心掛け暮らしています。

一方で体に害のある物質は、出来るだけ摂取しないようにと思っています。

しかし、食材を購入する際、原材料名を見てもみるものの、体にどれだけ影響があるのかよく分かりません。ヨーロッパやアメリカなどでは、使用が禁止されているものを日本では使用されているものもあると聞いたことがあります。先日、いただいた生菓子には着色料(赤102、ラック、V.B2、赤2、カロテン)とあり、赤ピンクの強い色で一口食べると不快な味がしました。これらは、体に害はないのかもしれませんが、食品製造にかかわる方々には、人々の健康を守るために今まで以上に気をつけて、より良い食品の製造に努めていただけるとありがたいです。

(消費生活センター)

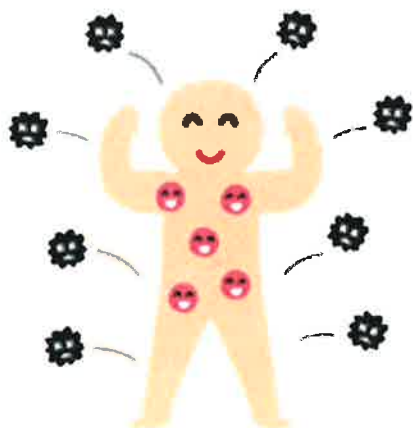
調味料、保存料、着色料などの総称を食品添加物といいます。食品添加物は、そのものを食べるのが目的ではなく、食品を作ったり、保存したりする目的で、食品に加えたり、混ぜたりするものです。

食品衛生法では、食品添加物を指定添加物(天然、合成などの製造方法に関わらず安全性と有効性が確認されており、厚生労働大臣が指定するもの)、既存添加物(長い食経験があり、安全性上問題があるとの情報もないこと等から、厚生労働大臣が特例的に使用を認めたもの)、天然香料(動植物から得られるもので、食品の着香の目的で使用されるもの)、一般飲食物添加物(一般に食品として飲食に供されているもので、添加物として使用されるもの)に分類されます。

食品添加物は、必要に応じて規格や基準が定められ、原則として食品に使用した添加物は、すべて表示することが義務づけられています。

食品添加物の規格や基準は、食品の安全性を確保しつつ、国際間で整合性のある規制が行われるよう、取り組みがなされています。日本でも、国際的な規格や基準にできるだけ沿うように定められています。日本と諸外国ではこれまでの長い食生活や制度の違いなどにより、添加物の定義、対象食品の範囲、使用可能な量などが異なっています。

山口県では県内8か所の健康福祉センターで年間計画を定め、定期的に県内で販売されている輸入食品の添加物検査を行っています。



## 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症に対しての各々の認識の幅がすごくあるように感じます。

外出先で建物の入口付近に消毒液が置かれてありますが、利用されている方は意外と少ないのでは？

外国では、買物先でビニール手袋等が配られて、食品等に直接素手で触れないための対策をとっている所もあるようです。

マスク、手洗いに対しての意識は上がってきているようですが、自分がウイルスに感染しないだけではなく、他人にも感染させないという思いやりの心も大切だと思うこの頃です。

## 新型コロナウイルス感染症

思いもよらぬウイルスが発生し全ての行事が中止、延期。学校休校。不要不急の外出自粛。それに伴う今後の経済悪化。誰にも想像できなかったことが起こっています。

必需品となったマスク、消毒用アルコール等の生産が追いつかない状況の中、SNSの間違った情報の拡散でペーパー類までもが一時店頭から消えるなど住民の混乱を招いています。

マスクは、ドラッグストアの店頭で朝一番で並んでも手に入らないことが分かり、今では手作りマスクに住民の意識は変わってきています。いつでもどこでも物が手に入り物が溢れている時代だからこそ、昔に比べこういう事態の危機感は相当なものではないかと思えます。

今も世界中で感染拡大が続き、終息が見えてこないです。経済が更に悪化すると、住民の生活にも影響が出てきます。

今思うのは、外出を控え、家で生活する中で昔の人が高度経済に乗っかるまでにしてきた生活の知恵を思いおこしたり、教わったりすることではないでしょうか。

早く、ウイルスを抑える薬が出来て欲しいと望むばかりです。



新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

# 「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と  
十分な距離を取る!



窓やドアを開け  
こまめに換気を!



屋外でも密集するような  
運動は避けましょう!  
少人数の散歩や  
ジョギングなどは大丈夫

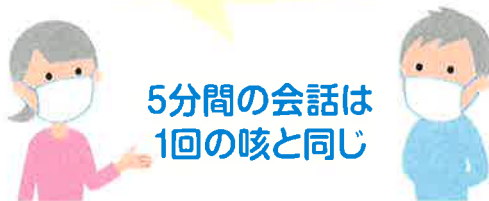


飲食店でも距離を取りましょう!

- ・ 多人数での会食は避ける
- ・ 隣と一つ飛ばしに座る
- ・ 互い違いに座る



会話をするときは  
マスクをつけましょう!



5分間の会話は  
1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは  
会話を慎みましょう!



首相官邸



厚生労働省

厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



『出典：首相官邸HPより』



## 高齢者外出支援事業

私は、職業柄、高齢者の方とお話をさせていただくことが多いのですが、よく話題になるのが普段のお買物や病院のことなどです。

その中で、移動手段に困っている…という声をよく聞きます。自分の足で歩いてカートを押して行きたいという方は、歩道がガタガタしていたりしている所があるのでカートは諦めたという方が多いようでした。重い物を購入したい時など、苦勞しているそうです。また、そうした理由からなかなか免許が返納できない…という80代の女性もいらっしゃいます。

そうした中で、4月から始まるHAGICA高齢者外出支援事業は、とても喜ばれている方も多く、すばらしい事業だと思います。

近場への移動なども、歩いて移動しやすいように安心・安全な歩道の整備も必要かと思いました。



## 研修会に参加して

相続事例（死亡）が発生した場合、その都度手続きをしておかないと相続争いにつながるおそれがあることを実感しました。

最後の研修会（キャッシュレス使い方講座）を楽しみにしていましたが……次回、是非お願いします。

## 消費生活モニターを終えて

消費生活モニターをお引き受けして、1年があっという間に過ぎました。その間、会う人に何か困ったり気がついたりしたことはありませんかと声をかけたりしましたが、「相談する程のことはねえ」との返事が多かったです。

また、施設見学や多くのセミナーへの参加は、今まで全く参加することのなかったことに参加でき、知らないことが多い私には良い勉強になりました。

## 消費生活モニターを終えて

2年間大変お世話になりました。

引き受ける際、勉強になるからと聞いておりました。本当に多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

### 消費生活モニターを終えて

2年間の消費生活モニターが終わります。

夫のふるさと萩にユーターンして3年が経ちました。

最初はとまどいもありましたが、今、私はこの萩の生活（スローライフ）が気に入っています。人生100年といわれはじめていますが、元気で健康で、長生きしなければなりません。

そのため最近ささやかれている「フレイル」に大変興味を持っています。

萩は、シニア人口が多いので、ぜひ福祉においても色々な事業を展開していただき、近郊の皆様とも協力して共に発展していただきたいと思います。

モニター通信を通して伝えた緑石や観光地のサインなど、改善が見られてうれしく思います。

### 消費生活モニターを終えて

2年間の消費生活モニターを経験し、消費者の角度から社会を見つめ、私達の生活の困り事や安全を脅かす事をたくさん勉強しました。私個人の力では解決できないことも相談する所があると知り、心強くなりました。ありがとうございました。

ひとつ残念なのは、モニターの方々と親しくお話しする機会があまり無かったことです。聴講して学習することが多く、意見を出し合う場があればもっと皆さんと繋がりが持て、意欲も増したかなと私は思いました。

（消費生活センター）

消費生活モニターでご活動いただき、ありがとうございました。

研修の内容などにつきましては、皆様にとってより良いものとなりますよう検討したいと思います。

令和元年度萩市消費生活モニター

馬場 麻希（椿東）  
小田 清美（御許町）  
田村 弘美（三見）  
阿武 愛子（大井）  
高橋 美晴（川上）  
原 宏子（下田万）  
高橋 知子（吉部下）  
餅山 昌代（須佐）  
上島 華代（佐々並）  
柴田 眞弓（福井下）

# 萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・  
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質  
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

